

2026年6月22日

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

2026年新入社員意識調査について

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役 佐々木泰司）は、岩手県内企業の新入社員を対象として実施した「2026年新入社員意識調査」の結果を以下のとおり公表します。

1. 就職活動について

就職先として岩手県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着がある（地元貢献を含む）」（46.3%）が最多

2. 職業観

就職先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めようと思っている」（37.6%）が最多

3. 生活観

初任給の使い道については、前年は2位だった「生活費」（58.7%）が本年は最も多く、前年に比べて6.1ポイント増加

本調査の内容は別紙のとおりです。

なお、本調査については6月30日に弊社ホームページへ掲載いたします。

（弊社ホームページ ⇒ レポート ⇒ Research Report 2026年7月）

《問い合わせ先》

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
経営支援部 地域経済調査担当 佐々木 邦光
TEL：019-622-1212

2026年6月22日

2026年新入社員意識調査

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
代表取締役 佐々木 泰司
盛岡市中央通一丁目2番3号
(担当 経営支援部 地域経済調査担当 佐々木 邦光)
TEL 019-622-1212

2026年新入社員意識調査

当社では、岩手県内の新入社員を対象として、職業観や生活観に関するアンケート調査を行った。

【調査要領】

- 調査時期 2026年4月
- 回答者数 180名
(男性97名、女性83名)
(高校卒55名、専門学校卒26名、短大卒2名、大学卒95名、大学院卒・その他2名)

【調査結果の要約】

1. 就職活動について

● 就職活動を振り返った感想

「それほど厳しくなかった」(59.8%)と「楽だった」(7.3%)の合計は、67.1%となった。7割弱の新入社員にとって、就職活動はほぼ順調だったことが窺える。

● 就職先として岩手県内企業を選んだ理由

「地元への愛着がある(地元貢献を含む)」(46.3%)、「家族や友人が近くにいる」(36.6%)、「希望の会社があった」(20.0%)が上位となった。

2. 職業観について

● 就職先を決める際に重視したこと

「堅実で安定性がある」(38.0%)、「労働条件(勤務時間・休日・休暇等)が良い」(33.0%)、「仕事の内容に興味がある」(27.9%)の順となった。

● 就職先への勤続意向

就職先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めようと思っている」(37.6%)が最も多く、2023年以降トップとなっていた「定年まで勤めることにはこだわらない」(34.8%)を上回った。

3. 生活観について

● 初任給の使い道

初任給の使い道については、前年は2位だった「生活費」(58.7%)が本年は最も多く、前年に比べて6.1ポイント増加した。

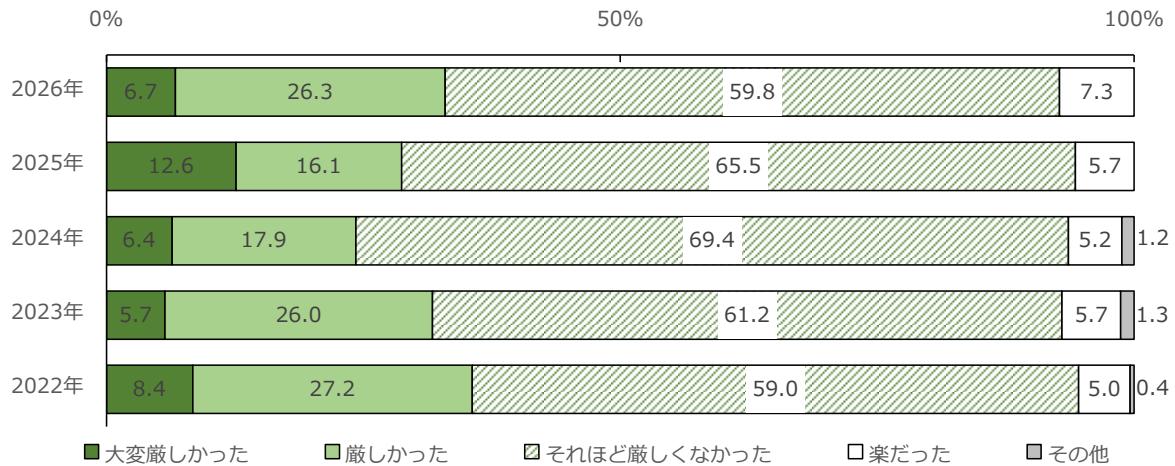
1. 就職活動について

(1) 就職活動を振り返った感想

就職活動を振り返った感想について、「それほど厳しくなかった」(59.8%)と「楽しかった」(7.3%)の合計は、67.1%となった。

7割弱の新入社員にとって、就職活動はほぼ順調だったことが窺える(図表1)。

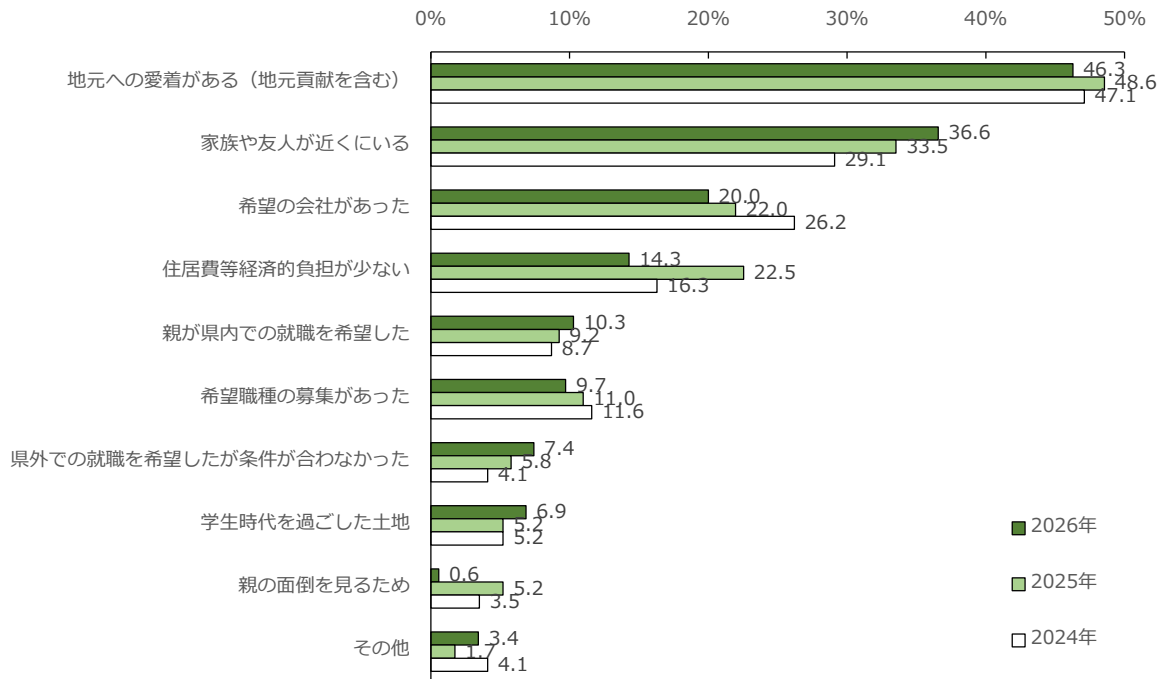
図表1 就職活動を振り返った感想



(2) 就職先として岩手県内企業を選んだ理由

就職先として岩手県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着がある(地元貢献を含む)」(46.3%)が最も多く、次いで、「家族や友人が近くにいる」(36.6%)、「希望の会社があった」(20.0%)の順となった(図表2)。

図表2 就職先として岩手県内企業を選んだ理由 (最大2つまでの複数回答)

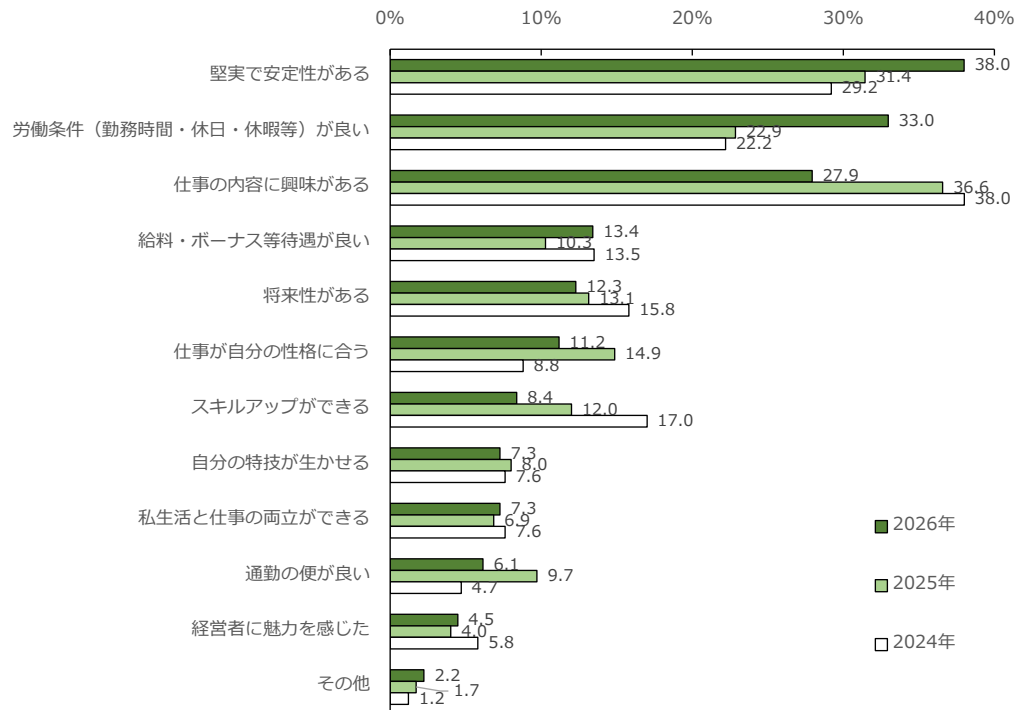


2. 職業観

(1) 就職先を決める際に重視したこと

就職先を決める際に重視したことは、「堅実で安定性がある」(38.0%)が最も多かった。2番目に多かった「労働条件(勤務時間・休日・休暇等)が良い」(33.0%)は、前年に比べて10.1ポイント増加しており、労働条件を重視する傾向が窺える(図表3)。

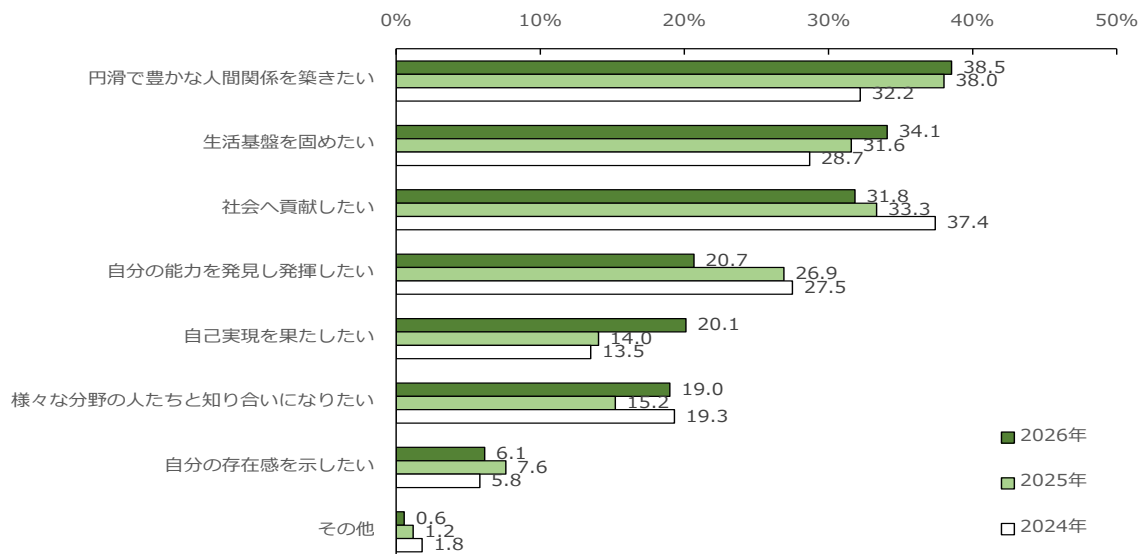
図表3 就職先を決める際に重視したこと (最大2つまでの複数回答)



(2) 社会人生活に期待すること

社会人生活に期待することとしては、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」(38.5%)が最も多く、次いで「生活基盤を固めたい」(34.1%)、「社会へ貢献したい」(31.8%)の順となった。(図表4)。

図表4 社会人生活に期待すること (最大2つまでの複数回答)

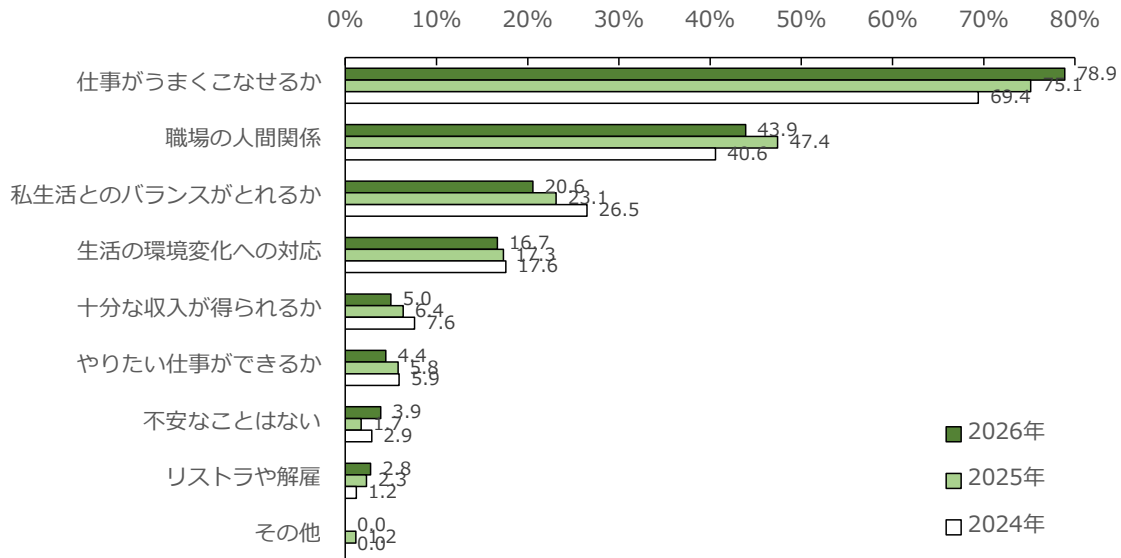


(3) 社会人生活で不安に感じること

社会人生活で不安に感じることについては、「仕事がうまくこなせるか」(78.9%)が最も多く、次いで「職場の人間関係」(43.9%)となった。

「不安なことはない」とした新入社員は3.9%に留まっており、新入社員は社会人生活について様々な不安を感じていることが窺える(図表5)。

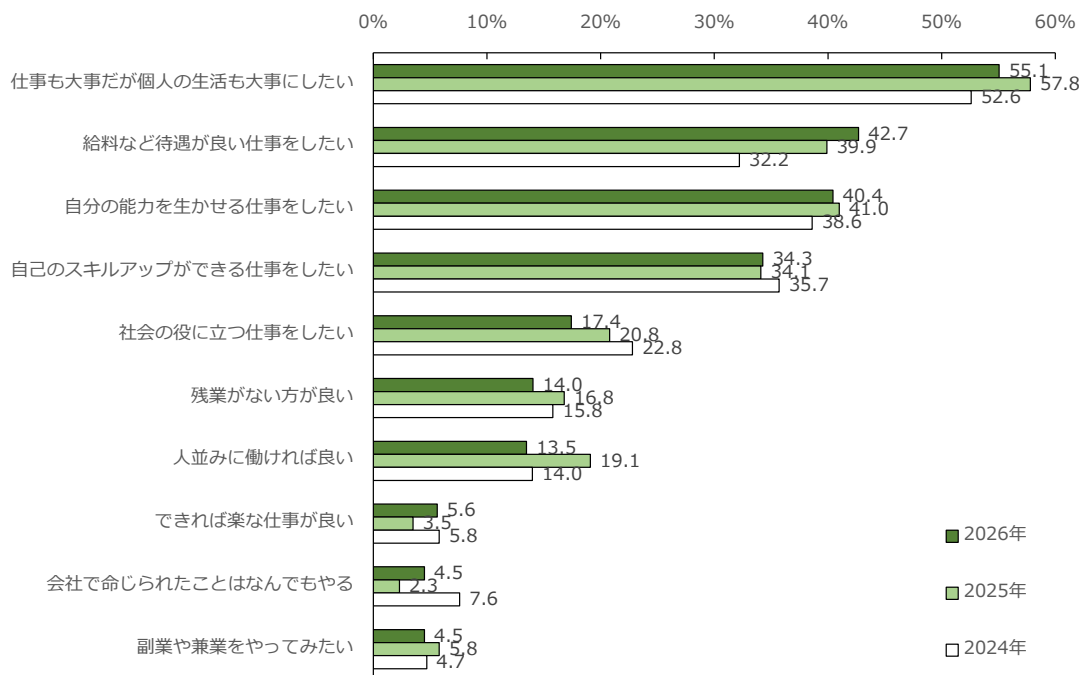
図表5 社会人生活で不安に感じること (最大2つまでの複数回答)



(4) 仕事の内容や働き方について

仕事の内容や働き方についての考え方は、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」(55.1%)が最も多かった。「給料など待遇が良い仕事がしたい」(42.7%)が2番目に多く、増加傾向にある(図表6)。

図表6 仕事の内容や働き方についての考え方 (最大3つまでの複数回答)

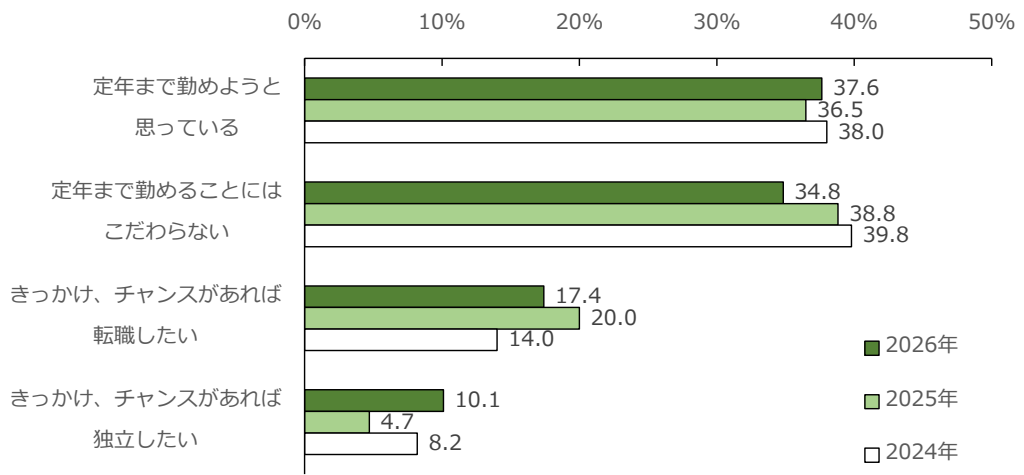


(5) 就職先での勤続意向

就職先にいつまで勤めたいか聞いたところ、「定年まで勤めようと思っている」(37.6%)が最も多く、2023年以降トップとなっていた「定年まで勤めることにはこだわらない」(34.8%)を上回った。

また、「きっかけ、チャンスがあれば転職したい」が17.4%、「きっかけ、チャンスがあれば独立したい」が10.1%であり、新入社員の4分の1ほどは、転職あるいは独立を視野に入れていることが窺える(図表7)。

図表7 就職先にいつまで勤めたいか

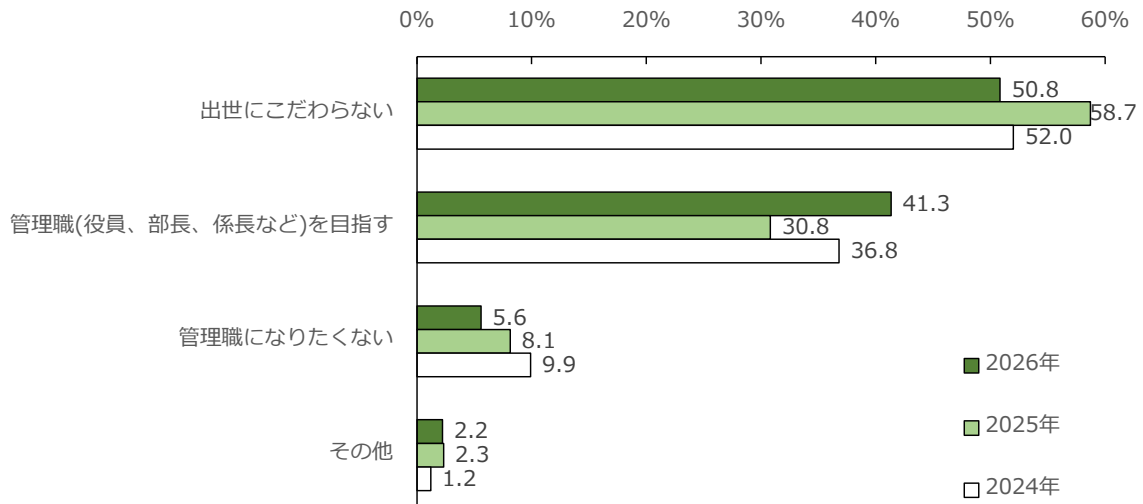


(6) 将来目指したい役職

将来目指したい役職を聞いたところ、「出世にこだわらない」(50.8%)が最も多かった。

また、「管理職(役員・部長・係長など)を目指す」は41.3%となり、前年に比べて10.5ポイント増加した(図表8)。

図表8 将来目指したい役職



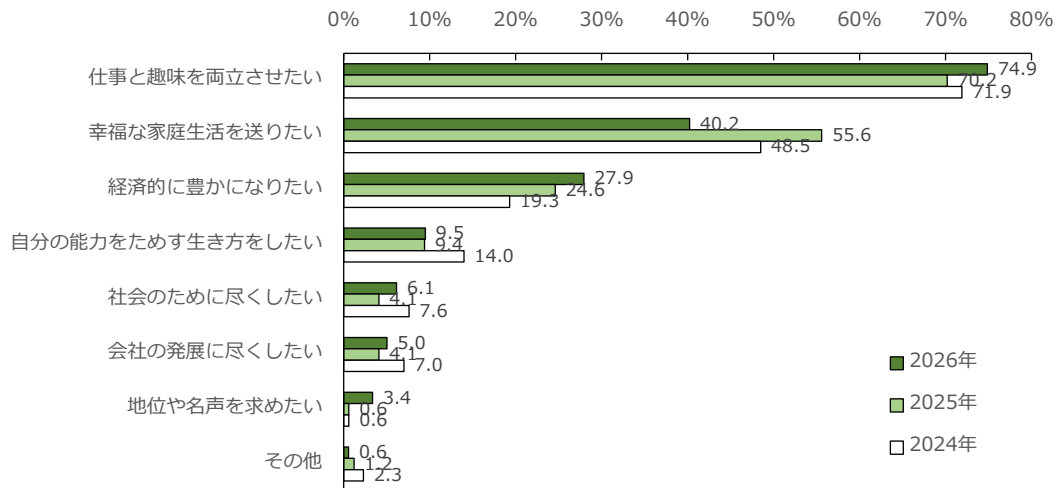
3. 生活観

(1) 理想とする生き方

理想とする生き方について聞いたところ、「仕事と趣味を両立させたい」(74.9%)が最も多く、次いで「幸福な家庭生活を送りたい」(40.2%)、「経済的に豊かになりたい」(27.9%)の順となった。

一方、「地位や名声を求めたい」(3.4%)は最下位であった。(図表9)。

図表9 理想とする生き方 (最大2つまでの複数回答)

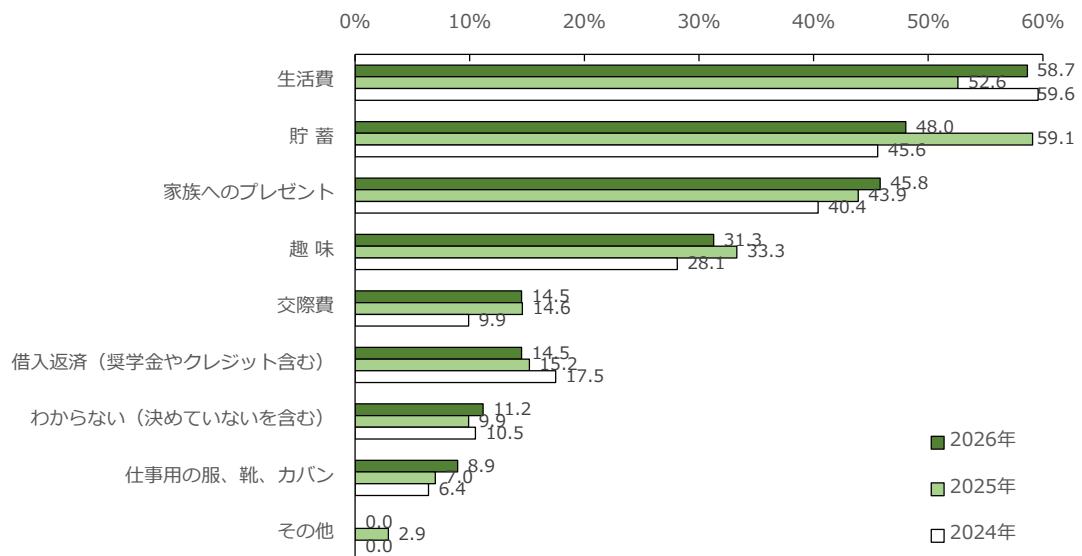


(2) 初任給の使い道

初任給の使い道については、前年は2位だった「生活費」(58.7%)が本年は最も多く、前年に比べて6.1ポイント増加した。

次いで「貯蓄」(48.0%)、「家族へのプレゼント」(45.8%)、「趣味」(31.3%)の順となった(図表10)。

図表10 初任給の使い道 (最大3つまでの複数回答)



(シニアマネジャー 佐々木 邦光)